

半田病院だより

第 **157** 号

「半田病院だより」は、半田病院ホームページ（<http://www.city.handa.aichi.jp/byouin/>）からもご覧いただけます。

半田病院広報部会

「新病院改革プラン」を策定しました

管理課

公立病院改革推進のため、平成27年3月に国が策定した「新公立病院改革ガイドライン」において、病院事業を設置する地方公共団体は、病院機能の見直しや病院事業経営の改革に総合的に取り組み、持続可能な病院経営をするための「新公立病院改革プラン（新改革プラン）」を平成28年度末までに策定することが義務づけられました。これをうけ、当院においても、半田市立半田病院経営評価委員会での協議、承認を得て「半田市立半田病院新改革プラン」を策定しました。

「新病院改革プラン」の計画期間

平成29年度～平成32年度（4年間）

「新病院改革プラン」の概要



(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

当院は、知多半島医療圏唯一の第三次救急指定病院であり、救命救急センターを有する高度急性期病院としての救急医療だけでなく、災害拠点病院や地域周産期母子医療センターとして、政策的医療の提供を積極的に行っています。

さらに、圏内唯一の「地域がん診療連携拠点病院」として、外科療法・放射線療法・化学療法など、複数の治療法を組み合わせた集学的がん医療の実践を図るなど、質の高いがん医療の提供に努めています。この他、圏域内での脳卒中や急性心筋梗塞など多くのハイリスク患者の入院も積極的に受け入れています。

今後も、他の医療機関などとの連携機能を充実し、地域完結型医療の推進に努め、現在の役割である急性期医療を担っていきます。

(2) 経営の効率化

当院の基本理念でもある、良質な医療の継続的提供を行うため、また高度な急性期医療を提供する役割を果たすためには多額の費用や資金が必要です。このため、経営指標についての数値目標を定め、業務運営の改善及び効率化に関する取組みを実施することで、経営の効率化を図ります。

(3) 再編・ネットワーク化

現在、ネットワーク化の取組みとして、地域連携システムによる病診連携、病病連携等を行っています。また、在宅医療連携システム（だし丸くんネット）の利用に際しても、地域の中核病院として、ネットワークの提供、看護師派遣などの支援を行っています。

今後も、地域完結型医療の推進のため、地域の医師会や医療機関等との更なる連携強化に取り組めます。

(4) 経営形態の見直し

経営形態について、当院の地方公営企業法の財務規程等一部適用の他に、地方公営企業法全部適用、地方独立行政法人、指定管理、民間譲渡があります。今後、本プランの期間内において、新病院建設事業と並行し、最適な経営形態や移行時期を研究・検討していきます。

※新改革プランの具体的取組み等については、半田病院ホームページにて公開しています。

<http://www.handa-city-hospital.jp/activity/kaikaku-plan-new.html>

新人看護職員 紹介



今年度 24 名の新人看護職員が半田病院に入職しました。半田病院では配属部署とは異なる部署をローテーションしながら学ぶ「新人看護職員研修」を 10 年前から実施しています。

この研修では下記の目的が達成できるように、基礎看護技術中心に実施しながら学んでいきます。

現在は配属部署にて日々奮闘していますが、この一年間は配属部署の学びだけでなく、毎月集合研修に参加し、同期の仲間と一緒に学んでいきます。



3B 病棟勤務

左から：石井舞・山崎日向子
(二人とも半田常滑看護専門学校出身・助産師)
臨床経験がなく助産師となったため未熟な私達ですが、知識・技術をしっかりと身に付け、精一杯頑張ります。

3A 病棟勤務 山本味史

4 月から 3A 病棟に配属されました。優しい先輩方に日々熱心にご指導して頂き、毎日楽しく過ごしています。



<新人看護職員研修の目的>

- ① 安全で安心な看護を提供するために、社会人及び専門職として必要な知識・技術・態度・職業倫理を身につけ、基本的な看護実践能力を獲得する。
- ② 厚生労働省「新人看護職員研修到達目標」に準じた基礎看護技術の獲得・向上を目指す。

来月の催し物

7月9日(日)

○市民公開講座

～がんは治るの？大腸がんについて、
今あなたに伝えたい～

講師：廣瀬 崇(半田病院消化器内科医師)

田口 泰郎(半田病院外科医師)

時間：14時～16時(開場：13時30分)

場所：市民交流センター(クラシティ3階)

申込み：不要

問合せ：半田病院 がん相談支援センター

7月12日(水)

○いきいき健康講座(毎月第2水曜日開催)

テーマ「認知症予防について」

※「はんだ健康マイレージ」対象事業

講師：認知症看護認定看護師

時間：10時30分～11時30分

場所：半田病院 正面玄関ホール

申込み：不要

問合せ：半田病院 看護局

7月30日(日)

○アドバンス・ケア・プランニング講演会

～もしもの話を元気なうちに～

講師：西川 満則(国立長寿医療研究センター医師)

蔵本 浩一(一般社団法人 iACP 共同代表・

亀田総合病院医師)

時間：14時～16時(開場：13時30分)

場所：雁宿ホール 講堂

申込み：必要(電話またはファックス)

問合せ：半田病院 管理課

新任医療技術者紹介



中央臨床検査科 成田 見和
検査室内の業務が主ですが、採血のときなど見かける事があれば、気軽に声をかけて下さい。



リハビリテーション科 神谷 実希
患者さん・ご家族に信頼して頂ける理学療法士を目指して、毎日笑顔で元気に頑張ります!!

放射線技術科

浅見 唯瑠伽

入職して1ヶ月が経ち、少しずつ業務に慣れてきました。日々成長できるように、積極的に頑張ります!! よろしくをお願いします。



放射線技術科 廣瀬 稔人
毎日が勉強の日々ですが、市民の皆さんの健康を守るお手伝いができるよう、一生懸命頑張ります!! よろしくをお願いします。



薬剤科 伊藤 実優

最近、ようやく職場に慣れてきました。皆様にご信頼頂けるような立派な薬剤師になれるように頑張ります!! よろしくをお願いします。



薬剤科 加藤 遥

半田病院は大学時代の実務実習で大変お世話になったので、就職できて嬉しく思います。業務を覚えることに必死な私ですが、見かけたら気軽に声をかけて下さい。



双極性障害を知っていますか？

うつ病という病名を耳にしたことのある方は多いかと思いますが、双極性障害という病名を耳にしたことのある方は多くないのではないのでしょうか。ではこの二つはどう違うのでしょうか？

うつ病とは、抑うつエピソード（下記A）のような状態が長期間続く場合のことを指します。

一方、双極性障害とは、**抑うつエピソードと躁病(そうびょう)エピソード（下記B）の両方が繰り返し、長期間続く場合のことを指します。**

A. 抑うつエピソード

- ① ほとんど一日中憂鬱で、沈んだ気持ちになる
- ② ほとんどのことに興味を失い、普段なら楽しくやれていたことも楽しめなくなる
- ③ 食欲が低下（または増加）したり、体重が減少（または増加）する
- ④ 寝つきが悪い、夜中に目が覚める、朝早く目が覚めるなどの不眠が起こるか、あるいは眠りすぎてしまうなど、睡眠の問題が起こる
- ⑤ 話し方や動作が鈍くなるか、あるいはイライラして落ち着きがなくなる
- ⑥ 疲れやすいと感じ、気力が低下する
- ⑦ 「自分には価値がない」と感じ、自分のことを責めてしまう
- ⑧ 何かに集中したり、決断を下すことが難しい
- ⑨ 「この世から消えてしまいたい」「死にたい」などと考える

以上のうち、少なくとも①か②のどちらかを含む5つ以上の症状がほとんど毎日2週間以上続く場合を「うつ病」と言います。

B. 躁病エピソード

- ① 気分が良すぎたり、ハイになったり、興奮したり、怒りっぽくなったりして、他人から普段のあなたとは違うと思われる
- ② 少ししか眠らなくても平気になる
- ③ 自分が偉くなったように感じる
- ④ いつもよりおしゃべりになる
- ⑤ 色々な考えが次々と頭に浮かぶ
- ⑥ 注意がそれやすい
- ⑦ 活動性が高まり、ひどくなると全くじっとしていられなくなる
- ⑧ 後で困ったことになるのが明らかなのに、つい自分が楽しいこと（買い物への浪費、性的無分別、馬鹿げた商売への投資など）に熱中してしまう

以上のうち、少なくとも①を含む4つ以上の症状が1週間以上続き、これらの症状により仕事や人間関係に差しつかえたり、入院が必要になる場合を「躁病」と言います。



上記AとBの両方の症状が繰り返し現れる状態のことを「双極性障害」と言います。

実は双極性障害の患者さんが、単なるうつ病と誤解されている方は少なくありません。最初の診断時に、躁状態が現れていないとうつ病と診断されてしまうことがあります。また軽度の躁病エピソードは見落とされがちで、長年通院しているのに気付かれていないこともあります。最初にうつ病と診断された方のおよそ10人に1人が最終的に双極性障害と判明するという統計結果もあります。

しかしうつ病と双極性障害では治療薬も経過も全く異なります。双極性障害の抑うつエピソードでは抗うつ薬を用いない方が良いとする考えが優勢となっています。抗うつ薬を使うことによって、うつと躁の間隔が狭まり繰り返しが多くなると考えられているからです。

詳しくは日本うつ病学会のホームページで「双極性障害（躁うつ病）とつきあうために」をご覧ください。

半田市立半田病院 広報部会 （事務局 管理課）

〒475-8599 半田市東洋町2-29 / TEL (0569) 22-9881 / FAX (0569) 24-3253

Eメール byouin@city.handa.lg.jp / URL <http://www.handa-city-hospital.jp/>